

## 令和5年度第2回柳井医療圏地域医療構想調整会議 議事概要

(令和5年度第1回柳井地域保健医療対策協議会)

【日 時】 令和5年10月30日(月) 19:00～20:30

【場 所】 柳井総合庁舎2階 大会議室

【出席者】 出席者名簿のとおり

【議事内容】

- 第8次山口県保健医療計画の素案について説明を行った。
- 地域医療構想の進捗状況の検証を行うとともに、検証を踏まえて行う必要な対応等について合意した。

### 1 第8次山口県保健医療計画の素案について

県医療政策課から、第8次山口県保健医療計画の素案について説明を行った。

(主な意見・質問等)

- 認知症について、精神疾患や高齢者保健福祉対策の分野に入っているが、認知症基本法が今年成立したことも踏まえ、独立した1つの分野としてはどうか。  
⇒ やまぐち高齢者プランなどの関連計画との整合性を保ちながら、連携して取組を推進していくこととしており、いただいたご意見を踏まえて検討していきたい。
- 災害医療について、災害発生時の対策が中心だが、在宅の難病患者等への対応など、医療がかなり関わることもあるため、平時の対策も必要ではないか。  
⇒ 平時の対策としては、被災後、早期に診療機能を回復できるよう、業務継続計画(BCP)の策定が重要であり、医療機関の取組も踏まえつつ、策定を促進していくことが必要と考える。
- 山口県医師確保計画について、大学病院から医師派遣を受けるには、柳井医療圏は地理的に不便であり、医師少数区域となっている。医師の働き方改革を進めていく中で、より一層医師確保が困難になる恐れがあるが、どのように対応していくのか。  
⇒ 医師の働き方改革を進める中で、勤務環境改善アドバイザーの派遣や子育て世代の医師に対する相談体制の整備といった支援体制を整えているところであり、今後も必要な支援について、関係機関とも連携しながら考えていきたい。

## 2 令和4年度病床機能報告結果について

## 3 地域医療構想の進捗状況の検証について

県医療政策課から、令和4年度病床機能報告結果について説明を行った。

また、令和5年度第1回調整会議で協議・合意した圏域全体の医療提供体制や各医療機関の役割分担の方向性等を踏まえ、地域医療構想の進捗状況の検証を行うとともに、非稼働病棟を持つ医療機関の今後の見通しや、圏域の課題を解決するための年度ごとの工程表の策定等について協議し、合意した。

(主な意見・質問等)

- 柳井医療圏では、必要病床数に近づいており、地域医療構想の取組は上手く進んでいると考えるが、引き続き、数合わせではなく、地域の実情等を踏まえて進めなければならない。
- 医師や看護師等の不足に加え、人口減少や医療需要の変化により、医療機関によっては休棟や病床削減を検討せざるを得ない状況となっている。
- 2025年以降の地域医療構想の取組について、どのような内容になる見込みか。  
⇒ 国は、高齢者人口がピークを迎えて減少に転ずる2040年頃を視野に入れて、医療・介護との連携も含めたバージョンアップを行う方針だが、具体的な内容が示されれば、調整会議で報告したい。